

平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昂

コード番号 9778 URL <http://www.subaru-net.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村 道子

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 岩下 敏明

TEL 099-227-9505

四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	697	△2.6	△85	—	△79	—	△63	—
26年2月期第1四半期	716	1.5	△83	—	△80	—	△57	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	△10.05	—
26年2月期第1四半期	△9.21	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	7,338	—	3,173	—	—	43.2
26年2月期	7,257	—	3,307	—	—	45.6

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 3,173百万円 26年2月期 3,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,704	1.4	△4	—	4	—	4	—	0.67
通期	3,632	1.5	235	11.5	255	13.0	153	1,717.9	24.40

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期1Q	6,935,761 株	26年2月期	6,935,761 株
27年2月期1Q	658,094 株	26年2月期	657,615 株
27年2月期1Q	6,277,986 株	26年2月期1Q	6,278,546 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6
4. 補足情報	6
(1) 販売の状況	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、経済再生政策、日銀の金融緩和策により、企業収益の改善や設備投資は活発化しました。一方では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もあり、4月以降の消費の伸びは鈍化いたしました。さらに燃料費、原材料費の価格高騰により消費活動を抑制する要因も加わり本格的な景気回復には依然として不透明な状況となっております。

このような状況下において当社は、フレスポ国分校（鹿児島県霧島市）を開校し、玉江校（鹿児島県鹿児島市）と西新校（福岡県福岡市早良区）の2校を移転いたしました。

生徒構成においては、通常料金に比べ廉価な小学生を対象とする「キッズくらぶ」と高等部並びに個別指導部においては前年実績を上回りましたが、中核をなす中学部において前年実績を回復するまでには至りませんでした。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は697百万円（前年同期比2.6%減）となり、営業損失は85百万円（前年同四半期の営業損失83百万円）、経常損失は79百万円（前年同四半期の経常損失80百万円）、四半期純損失は63百万円（前年同四半期の四半期純損失57百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて80百万円増加して7,338百万円となりました。流動資産は前事業年度末に比べ119百万円増加して503百万円、固定資産は前事業年度末に比べ39百万円減少して6,834百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金と繰延税金資産が増加したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、有形固定資産の減価償却によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ214百万円増加して4,164百万円となりました。流動負債は前事業年度末に比べ268百万円増加して1,907百万円、固定負債は前事業年度末に比べ54百万円減少して2,257百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、短期借入金と前受金が増加したことによるものであります。

固定負債減少の主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ133百万円減少して3,173百万円となりました。主な要因は、配当金の支払い及び四半期純損失による利益剰余金の減少によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月14日付「平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」において発表いたしました第2四半期（累計）および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	206,760	285,654
営業未収入金	3,202	3,212
有価証券	3,545	7,064
教材	61,792	45,808
貯蔵品	2,582	2,228
繰延税金資産	67,129	109,698
その他	38,827	50,010
貸倒引当金	△400	△500
流動資産合計	383,441	503,176
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,198,319	2,185,122
土地	3,597,080	3,597,080
その他（純額）	96,415	105,696
有形固定資産合計	5,891,815	5,887,899
無形固定資産	42,030	48,444
投資その他の資産		
繰延税金資産	264,515	241,294
投資不動産（純額）	251,706	251,514
その他	423,938	405,700
投資その他の資産合計	940,160	898,510
固定資産合計	6,874,006	6,834,853
資産合計	7,257,447	7,338,030
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,582	1,791
短期借入金	400,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	620,408	630,412
未払金	111,128	63,401
未払法人税等	94,777	6,210
前受金	112,193	177,467
賞与引当金	82,070	63,069
ポイント引当金	22,449	26,864
資産除去債務	10,282	—
その他	122,567	188,014
流動負債合計	1,638,460	1,907,230
固定負債		
長期借入金	1,526,372	1,472,099
退職給付引当金	617,536	627,999
長期未払金	139,092	123,342
その他	28,364	33,706
固定負債合計	2,311,365	2,257,147
負債合計	3,949,825	4,164,378

（単位：千円）

	前事業年度 （平成26年2月28日）	当第1四半期会計期間 （平成26年5月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	990,750	990,750
資本剰余金	971,690	971,690
利益剰余金	1,712,891	1,574,475
自己株式	△376,774	△376,935
株主資本合計	3,298,556	3,159,980
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,065	13,671
評価・換算差額等合計	9,065	13,671
純資産合計	3,307,622	3,173,652
負債純資産合計	7,257,447	7,338,030

(2) 四半期損益計算書

(第 1 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 5 月31日)
売上高	716,071	697,380
売上原価	644,967	642,756
売上総利益	71,104	54,623
販売費及び一般管理費	154,114	140,495
営業損失 (△)	△83,010	△85,871
営業外収益		
受取利息	147	110
有価証券利息	—	2,164
受取配当金	20	22
受取家賃	2,084	2,777
受取手数料	5,030	5,185
その他	572	453
営業外収益合計	7,855	10,713
営業外費用		
支払利息	3,712	3,016
その他	1,464	1,015
営業外費用合計	5,177	4,032
経常損失 (△)	△80,332	△79,190
特別利益		
投資有価証券売却益	56	—
特別利益合計	56	—
特別損失		
固定資産除却損	729	415
特別損失合計	729	415
税引前四半期純損失 (△)	△81,005	△79,606
法人税、住民税及び事業税	4,203	5,343
法人税等調整額	△27,378	△21,871
法人税等合計	△23,175	△16,528
四半期純損失 (△)	△57,830	△63,077

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第1四半期累計期間の販売実績(売上高)は以下のとおりであります。

(単位:千円、単位未満切捨)

部 門	前第1四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	比較増減
幼児・小学部	196,516	195,769	△747
中学部	416,375	399,771	△16,603
高等部	23,286	24,974	1,687
個別指導部	61,237	60,699	△538
その他	18,655	16,165	△2,489
合 計	716,071	697,380	△18,691

(注) 1 その他は、合宿収入等であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。